



ネットワークCDレシーバー

CRX-N470

取扱説明書



GRANDPIANO CRAFT

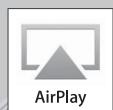
ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(48~51ページ)を必ずお読みください。

■製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

■保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付



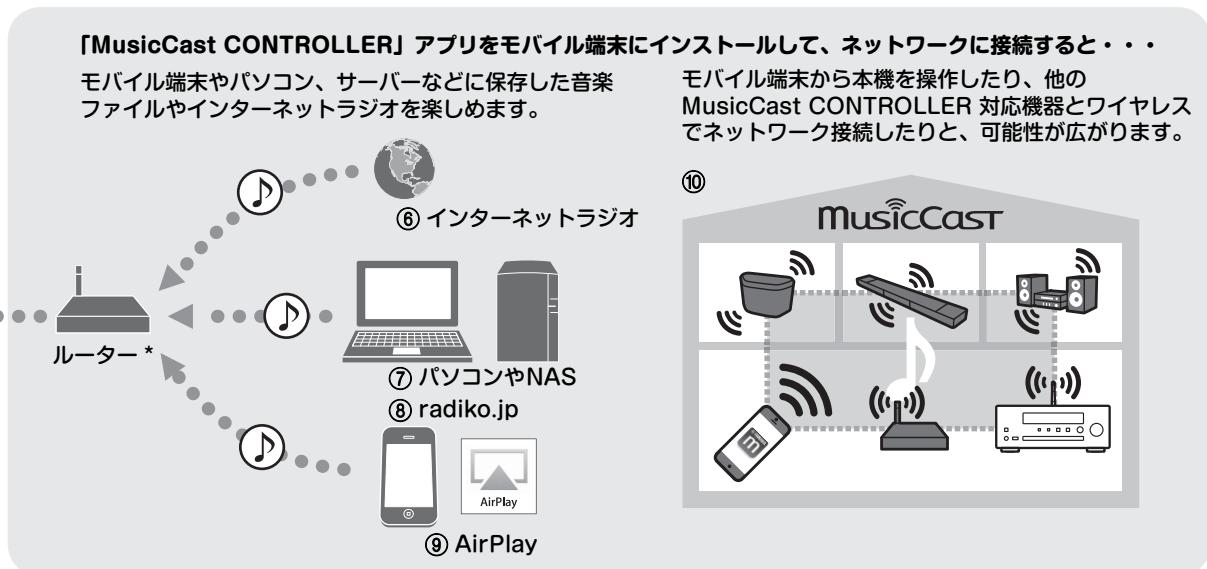
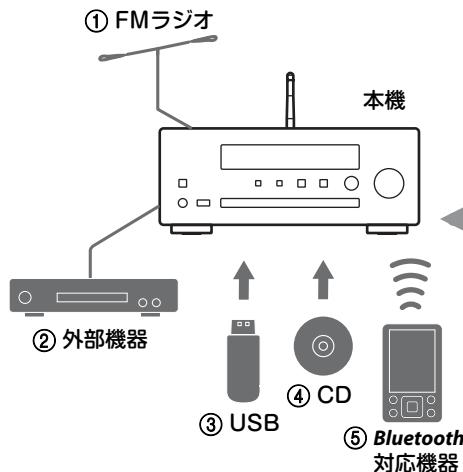
Bluetooth® **musicCast**

目次

本機でできること3	再生する18	故障かな?と思ったら38
はじめに4	CD の音楽を再生する18	全般38
付属品4	USB 機器の音楽を再生する19	ネットワーク39
本書について4	Bluetooth 接続で音楽を再生する20	Bluetooth40
各部の名称5	外部機器の音楽を再生する22	ディスク41
フロントパネル5	FM ラジオを聞く23	USB 機器42
リアパネル6	②インターネットラジオを聞く25	ラジオ42
ディスプレイ7	②radiko.jp を聞く26	ディスプレイの表示メッセージ43
リモコン8	②パソコンの曲を再生する27	
準備する9	②ネットワークコンテンツを登録する29	
スピーカーを接続する9	②AirPlay で音楽を再生する30	
アンテナを接続する10		
②ネットワークの準備をする10	②本機とモバイル端末を直接接続する31	対応機器 / メディアとファイル形式44
電源を入れる11		対応機器 / メディア44
②ネットワークに接続する12	もっと便利に使う32	ファイル形式45
接続方法を選ぶ12	シャッフル / リピート再生する32	
「MusicCast CONTROLLER」で接続する13	曲情報を見る33	主な仕様46
無線で接続する14	FAVORITES にお気に入りを登録する34	商標47
有線で接続する16	音質を調整する35	安全上のご注意48
ファームウェアを更新する17	スリープタイマーを使う35	
	オプション設定36	

本機でできること

- ・本機は、ホームネットワークおよびオーディオシステムと組み合わせて、同一ネットワーク内のメディアサーバー（パソコン、NAS）に保存した曲や、インターネットラジオ、FMラジオ、CD、AirPlay対応機器（iPhone/iTunes）、USB機器に保存した曲、DVDプレーヤーなどの外部機器を再生するネットワークCDレシーバーです。
- ・iOS/Androidに対応した専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用して、曲の選択や本体操作を快適に行うことができます。



* モバイル端末を使う場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）が必要です。

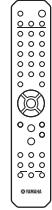
- ① FM ラジオの再生（☞ P.23）
- ② 外部機器の音楽の再生（☞ P.22）
- ③ USB 機器の音楽の再生（☞ P.19）
- ④ CD の再生（☞ P.18）
- ⑤ Bluetooth 機器の音楽の再生（☞ P.20）

- ⑥ インターネットラジオの再生（☞ P.25）
- ⑦ パソコンや NAS 内の音楽ファイルの再生（☞ P.27）
- ⑧ radiko.jp の再生（☞ P.26）
- ⑨ AirPlay の再生（☞ P.30）
- ⑩ MusicCast CONTROLLER の使用（☞ P.12）

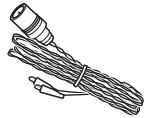
はじめに

付属品と、本書の見方について確認しておきましょう。

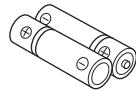
▶付属品



リモコン



FMアンテナ



単3乾電池（2本）

▶本書について

- ・リモコンでの操作をメインに記載しています。
- ・iOSおよびAndroid携帯端末を総称して「モバイル端末」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。
- ・本文中のiPhoneという表記はiPod/iPadも含みます。
- ・本文中のイラストは実物と異なる場合があります。
- ・マークについて

Note 使用時の注意点や補足情報を示しています。

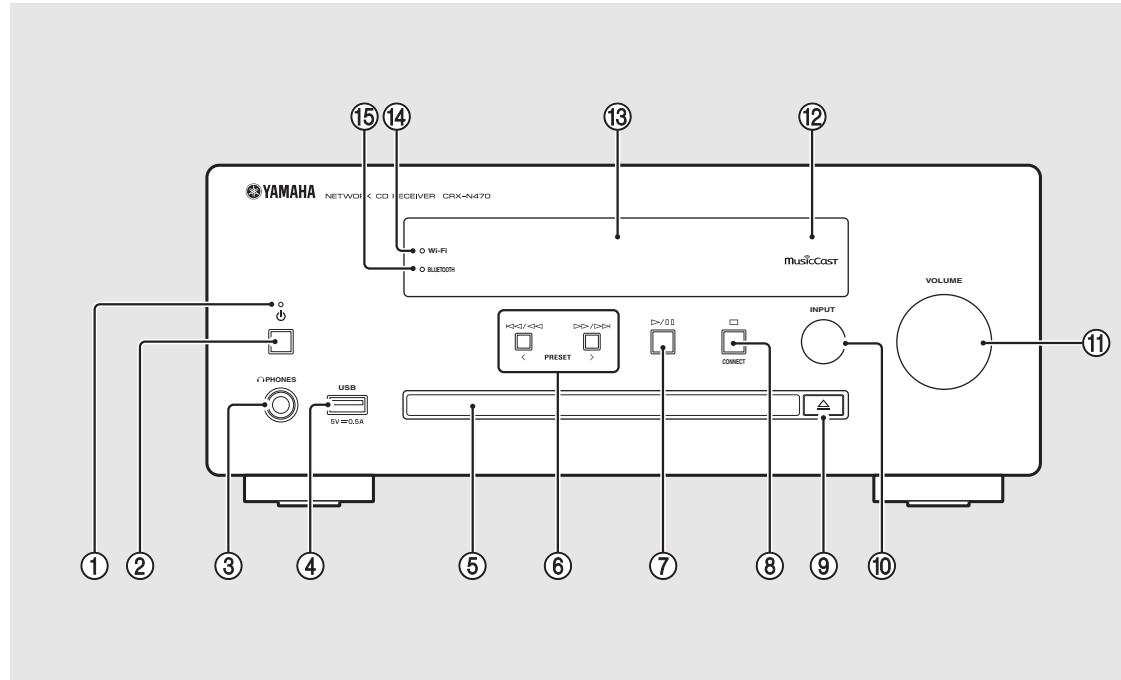
関連情報が記載されているページです。

ネットワーク接続が必要な機能には、このアイコンがついています。

各部の名称

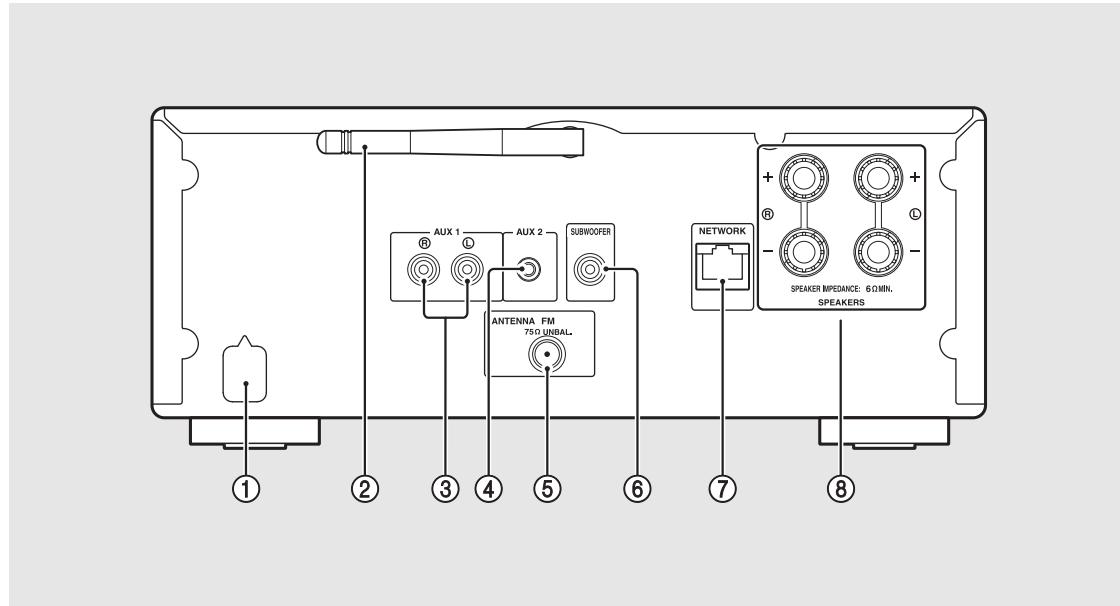
本機の各部分の名前と機能をご確認ください。

フロントパネル



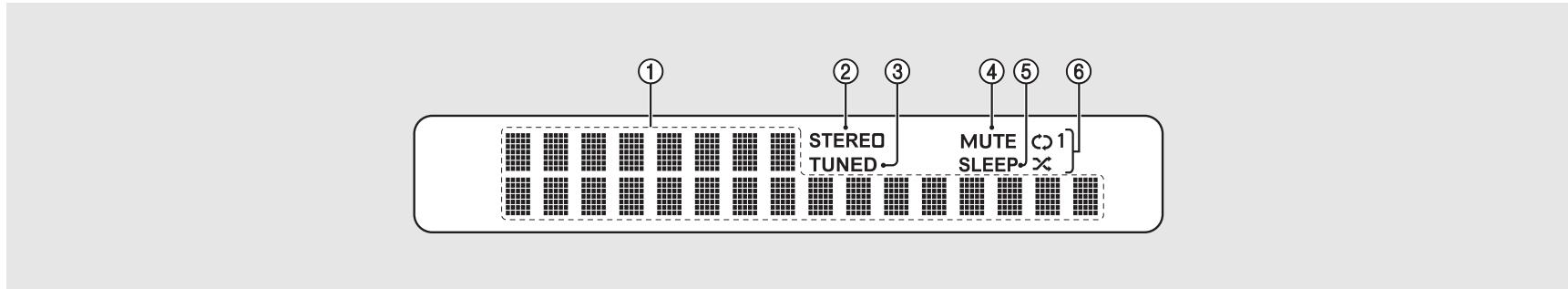
- ① パワーインジケーター
本機の電源をオンにすると点灯します。
- ② ♂ (電源) (☞ P.11)
- ③ PHONES
ヘッドホンを接続します。
Note • ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーやサブウーファーから音は出ません。
- ④ USB 端子 (☞ P.19)
- ⑤ ディスクトレイ (☞ P.18)
- ⑥ ⇠/⇠ ⇢/⇢ (☞ P.18、19、28)
プリセット ⇠ / ⇢ (☞ P.24)
- ⑦ ▷/□(曲の再生 / 一時停止)
(☞ P.18、19、28)
- ⑧ □(停止) (☞ P.18、19、28、25)
ネットワークに簡単接続するときに使用します。
- ⑨ △(ディスクトレイ開閉) (☞ P.18)
- ⑩ インプット INPUT (☞ P.18、19)
入力ソースを切り替えます (ソースはディスプレイに表示されます)。
- ⑪ ボリューム VOLUME
音量を調節します。
- ⑫ リモコン信号受光部
- ⑬ ディスプレイ (☞ P.7)
- ⑭ Wi-Fi インジケーター (☞ P.14)
- ⑮ Bluetooth インジケーター (☞ P.20)

リアパネル



- ① 電源コード (P.11)
- ② 無線アンテナ (P.14)
- ③ AUX 1 端子 (RCA 入力) (P.22)
- ④ AUX 2 端子 (ミニジャック入力) (P.22)
- ⑤ ANTENNA 端子 (P.10)
アンテナ
- ⑥ SUBWOOFER 端子 (P.9)
サブウーファー
- ⑦ NETWORK 端子 (P.10)
ネットワーク
市販の LAN ケーブルを使ってネットワークへ接続します。
- ⑧ SPEAKERS 端子 (P.9)
スピーカー

ディスプレイ



① 多機能インジケーター
再生中の曲の情報、ラジオの周波数など、さまざまな情報を表示します。
ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。

② STEREO インジケーター
FMステレオ放送を受信すると点灯します。

③ TUNED インジケーター
FM放送局を受信すると点灯します。

④ MUTE インジケーター
消音したときに点灯します (☞ P.8)。

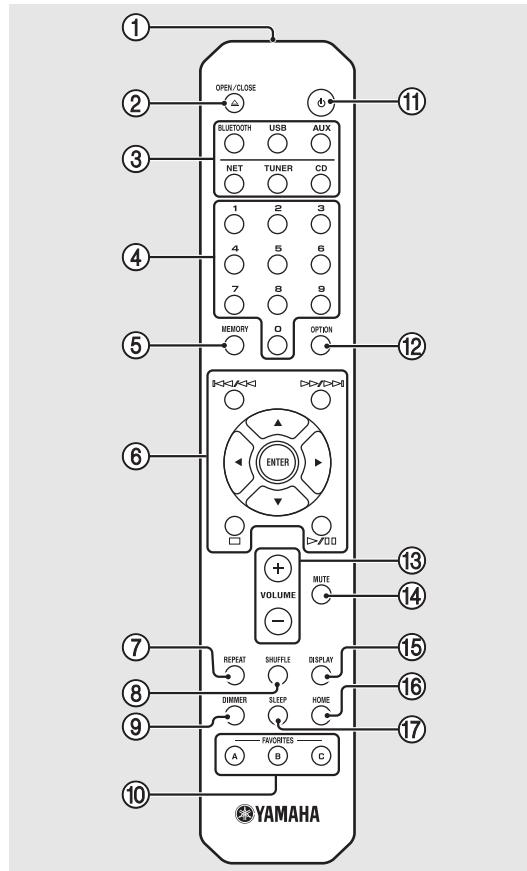
⑤ SLEEP インジケーター
スリープタイマーを設定すると点灯します
(☞ P.35)。

⑥ シャッフル、リピートインジケーター
CD、USB、パソコンの曲をシャッフル再生、またはリピート再生しているときに点灯します
(☞ P.32)。

Note ディスプレイの明るさを調整する
リモコンの**DIMMER**ボタン (☞ P.8) を押すと、ディスプレイの明るさを調整できます。

- 押すたびに、明るい (初期設定)、やや明るい、暗い、の3段階に切り替わります。

リモコン



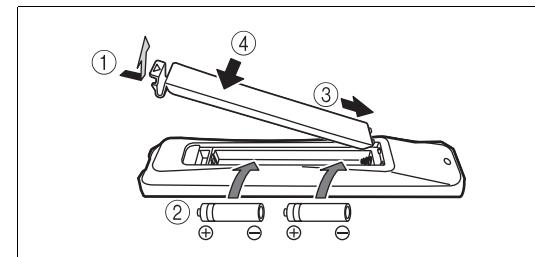
- ① 赤外線信号送信部
- ② △(ディスクトレイ開閉) (☞ P.18)
- ③ ソースボタン
入力ソースを切り替えます。
- ④ 数字ボタン (☞ P.18、29)
- ⑤ MEMORY (☞ P.23、29)
- ⑥ オーディオ操作、カーソル操作ボタン
(☞ P.18、19、25、28)
- ⑦ REPEAT (☞ P.32)
- ⑧ SHUFFLE (☞ P.32)
- ⑨ DIMMER (☞ P.7)
- ⑩ FAVORITES (☞ P.34)
- ⑪ Ⓛ(電源) (☞ P.11)
- ⑫ OPTION (☞ P.36)
- ⑬ VOLUME +/ -
音量を調整します。
- ⑭ MUTE
消音/消音の解除を行います。

⑯ DISPLAY (☞ P.33)

⑰ HOME (☞ P.25、28)

⑱ SLEEP (☞ P.35)

リモコンに電池を入れる



電池の+と-を確認し、正しい向きで電池をリモコンに入れてください。

Note

- リモコンの操作範囲が極端に狭くなったら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。

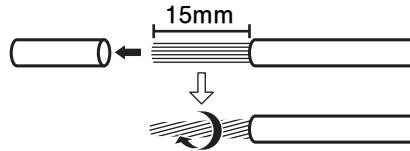
準備する

スピーカーやアンテナなどを接続して、本機の電源を入れます。

電源コードは、すべてのケーブルを接続し終わってからコンセントに差し込んでください。

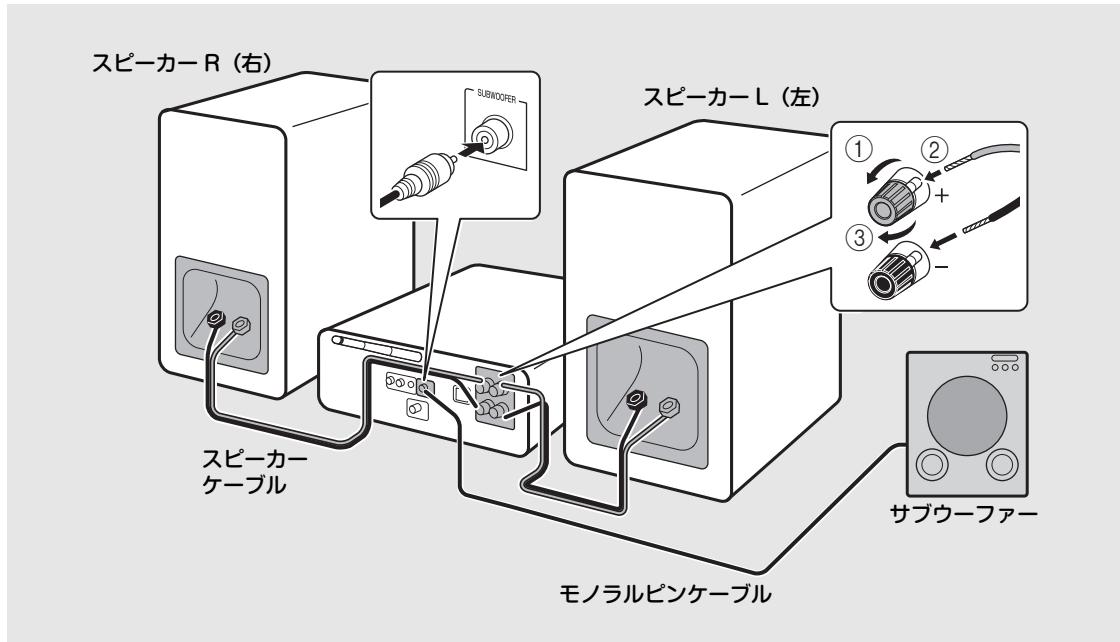
スピーカーを接続する

- 1 スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）をはがし、芯線を露出させる。



- 2 右図のようにスピーカーを接続する。

- スピーカーやサブウーファー、接続に必要なケーブルは別途ご用意ください。
- 接続については、スピーカーやサブウーファーに付属している取扱説明書をご覧ください。

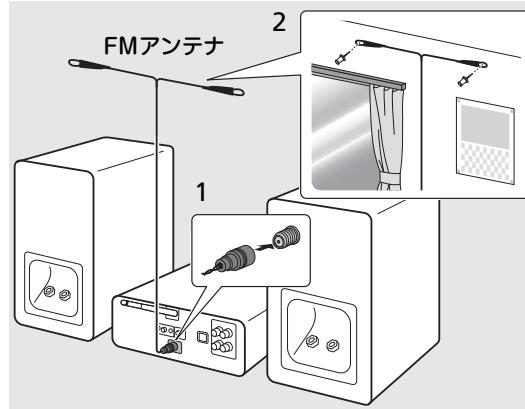


⚠ 注意 • 左右のスピーカーの芯線どうしが接触したり、芯線が他の金属部に接触したりすると、本体およびスピーカーを破損する原因となります。
• スピーカーはインピーダンスが 6Ω 以上のものをお使いください。

Note • スピーカーは、端子の左右（L、R）や、極性（赤：+、黒：-）を確認して正しく接続してください。間違えて接続すると音が不自然になります。
• 本機はサブウーファーも接続できます。その場合は、アンプ内蔵のものをお使いください。

●アンテナを接続する

- 1 付属のアンテナを接続する。
- 2 最もよく受信する位置にピン等で固定する。



Note

- アンテナはイラストのように広げて張ってください。
- 受信状態が悪い場合は、付属のアンテナの代わりに市販の屋外アンテナを使用すると改善される場合があります。

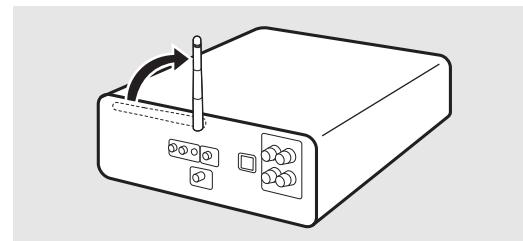
●ネットワークの準備をする



無線接続の場合

無線アンテナを立てる。

- リアパネルの無線アンテナを立ててください。

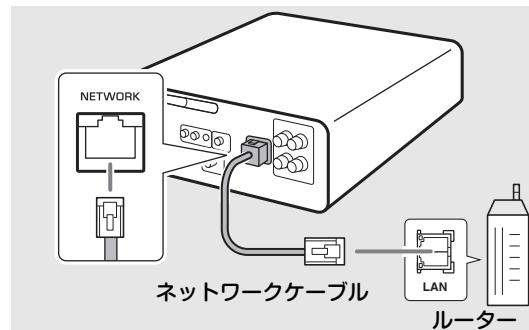


- ! 注意**
- 無線アンテナに極端な力を加えないでください。
 - 無線アンテナを取りはずさないでください。

有線接続の場合

下図のように本機をルーターに接続する。

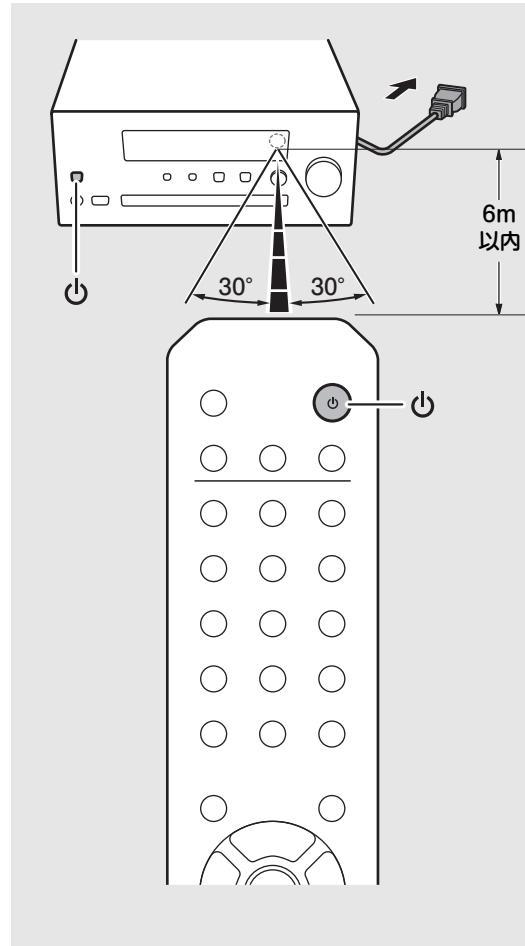
- 市販のネットワークケーブル（CAT-5以上のストレートケーブル）を使用してください。



電源を入れる

電源コードをコンセントに差して、
①を押す。

- ・「電源オン」になります。
- ・もう一度①を押すと電源が切れます(スタンバイ)。
- ・ご購入後はじめて本機の電源を入れると、ネットワーク設定画面(Share Wifi Set)が表示される場合があります。ネットワーク設定画面が表示された場合は「iOSデバイスの設定を共有する」(☞ P.15)の手順6をご覧ください。



電源に関するオプションメニュー (System Config) (太字: 初期値)

オプションメニューの操作については「オプション設定」(☞ P.36) をご覧ください。

AutoPowerStby

自動的にスタンバイ状態になる設定をします。
(On, Off)

Onにすると、入力ソースに応じて、次の条件で自動的にスタンバイ状態になります。

- Network/Bluetooth/CD/USB : 操作も再生もない状態が20分間続いた場合。
- 上記以外の入力ソース : 何も操作しない状態が 8 時間続いた場合。

Net Standby

スタンバイ中のネットワーク動作を設定します。
(On, Off)

Offにすると、スタンバイ中のネットワーク動作を停止して、消費電力をおさえます。この場合、スタンバイ中は以下の機能を利用できなくなります。

- 「MusicCast CONTROLLER」アプリ
(☞ P.13) を使って本機の電源を入れる。
- USB機器の充電
- AirPlay
- Bluetooth

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイル端末、ネットワーク接続ストレージ（NAS）などのDLNA^{*}サーバーに保存されている音楽ファイル、またはインターネットの音声コンテンツを再生できます。

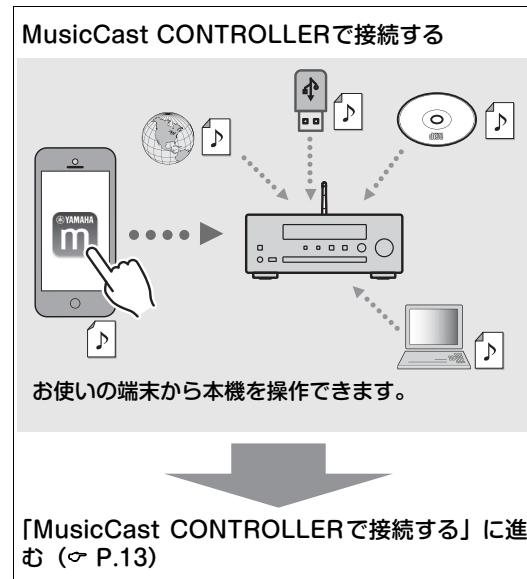
* Digital Living Network Alliance（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）

接続方法を選ぶ

ネットワークに接続するには、「MusicCast CONTROLLER」アプリでの接続がもっとも簡単おすすめです。

Note

- ハイレゾ音源を再生する場合は、接続の安定性を保つために有線接続を推奨します。
- インターネットの接続については、お使いのネットワーク機器に付属している取扱説明書をご覧ください。
- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。



MusicCast CONTROLLERを使わず、本体のみで接続する

無線で接続する場合

「無線で接続する」に進む (☞ P.14)

有線で接続する場合

「有線で接続する」に進む (☞ P.16)。

「MusicCast CONTROLLER」で 接続する

本機を、お使いのモバイル端末が接続しているご家庭のネットワークに接続します。

1 「MusicCast CONTROLLER」を モバイル端末にインストールする。

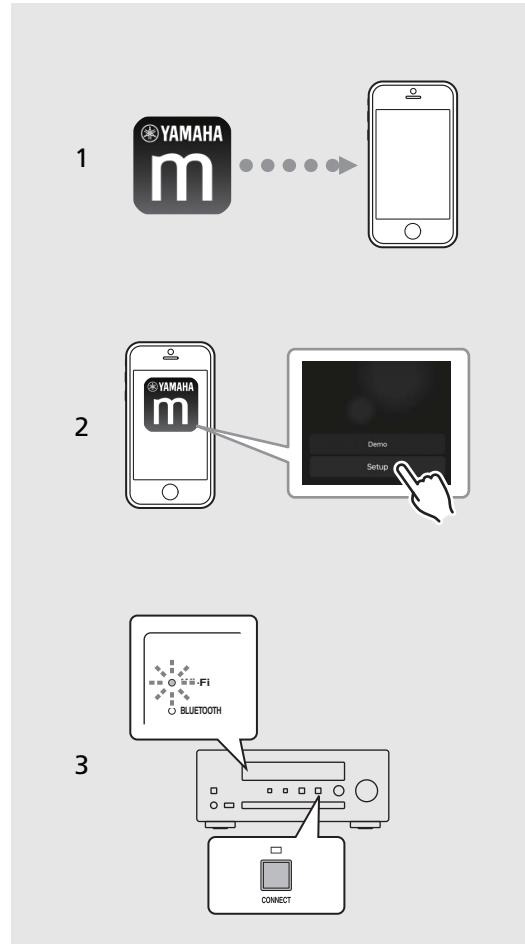
- App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。

2 「MusicCast CONTROLLER」を 起動して「設定する」をタップする。

- アプリの案内に従って操作してください。

3 □を約5秒間長押しする。

- Wi-Fi インジケーターが点滅します。アプリの案内に従って設定してください。



Note

- MusicCast CONTROLLERについて詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.yamaha.com/musiccast/>
- MusicCast CONTROLLERの設定については「MusicCast セットアップガイド」をご参照ください。以下のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://download.yamaha.com/jp/>

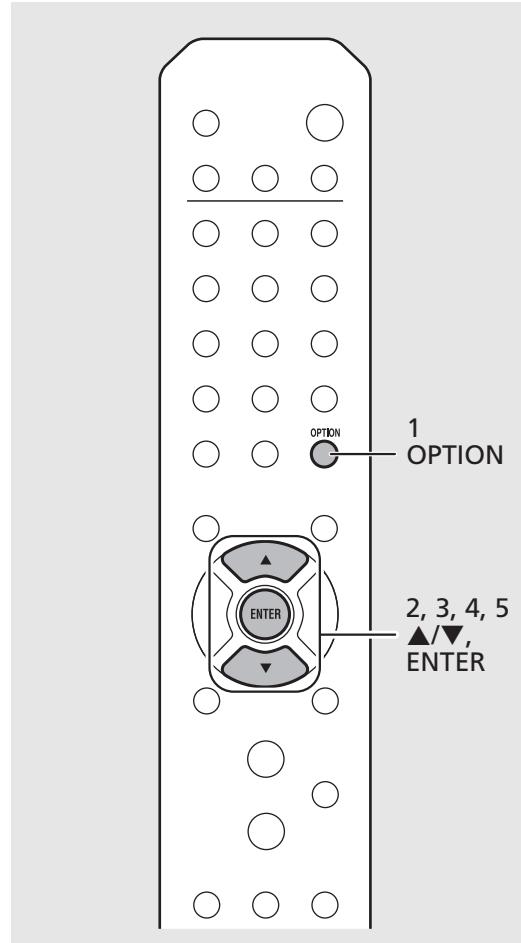
► 無線で接続する

WPS (Wi-Fi Protected Setup) ボタンで設定する方法と、iOSデバイス (iPhoneなど) の設定を共有する方法があります。

WPSボタンで設定する

- WPSボタン付きの無線LANルーター(アクセスポイント)が必要です。

- 1  を押す。
- 2 ▲/▼で [Network Config] を選び、 を押す。
- 3 ▲/▼で [Select Network] を選び、 を押す。
- 4 ▲/▼で [Wireless] を選び、 を押す。
- 5 ▲/▼で [WPS] を選び、 を押す。
- 6 無線LANルーターのWPSボタンを押す。
 - 接続すると、Wi-Fi インジケーターが点灯します。



WPSとは

WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。WPSにより、無線ネットワークを簡単に設定できます。

Note

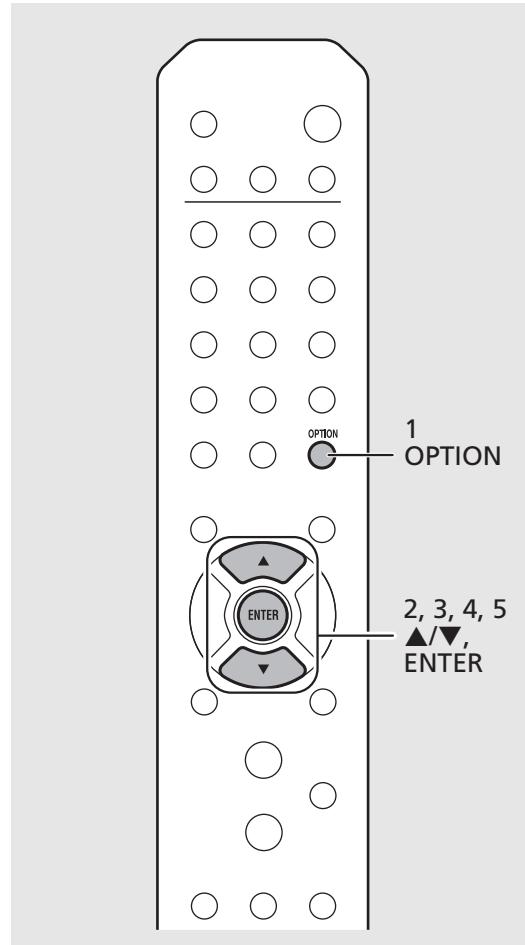
- 有線ネットワーク接続やワイヤレスダイレクト (☞ P.31) と一緒に使用することはできません。
- 本機と無線LANルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できない場合があります。そのような場合は、本機と無線LANルーターを近づけて設置してください。

iOSデバイスの設定を共有する

iOSデバイスのネットワーク設定を本機に適用します。

- iOS7.1以降を搭載したiOSデバイスが必要です。
- 設定を始める前に、iOSデバイスが無線LANルーターに接続されていることを確認してください。

- 1  を押す。
- 2  で [Network Config] を選び、 を押す。
- 3  で [Select Network] を選び、 を押す。
- 4  で [Wireless] を選び、 を押す。
- 5  で [Share WiFi Set] を選び、 を押す。
 - ディスプレイにネットワーク初期化のメッセージが表示されたら、ENTERを押します。
- 6 iOSデバイスのWi-Fi設定画面を開き、「新しいAIRPLAYスピーカーを設定...」から本機を選ぶ。
 - 以降は、iOSデバイスの画面の指示にしたがって操作します。
 - 接続すると、Wi-Fi インジケーターが点灯します。

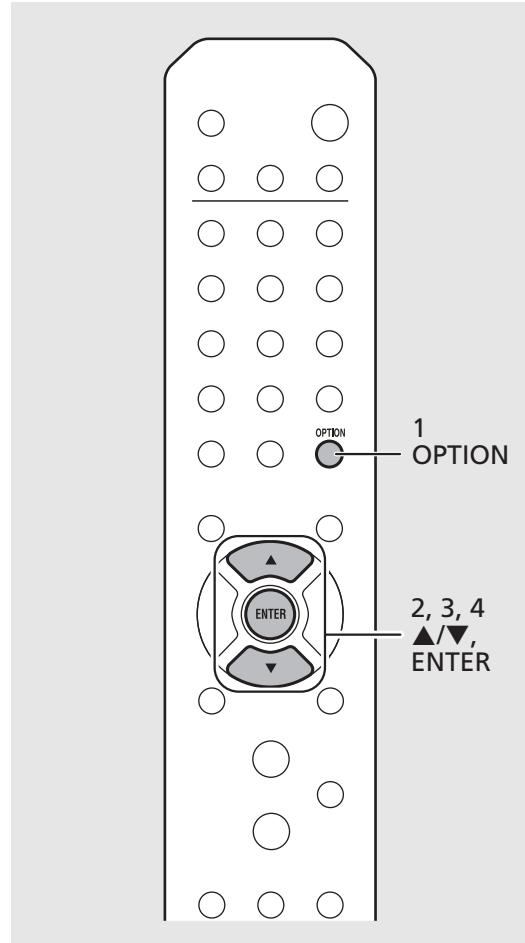


Note

- iOS デバイスのネットワーク設定を共有すると、すべてのネットワーク情報と Bluetooth の接続情報が初期化されます。各種ストリーミングサービスのアカウント情報も初期化されます。

有線で接続する

- 1 **OPTION** を押す。
- 2 **▲/▼**で [Network Config] を選び、**ENTER**を押す。
- 3 **▲/▼**で [Select Network] を選び、**ENTER**を押す。
- 4 **▲/▼**で [Wired] を選び、**ENTER**を押す。
• 本機では、[Wired] が初期設定です。



Note

- DHCP サーバー非対応のルーターを使いの場合は、オプション設定の [Network Config] でネットワーク設定をしてください (☞ P.36)。
- サブネットを手動で設定する場合は、すべて本機と同じサブネットに設定してください (☞ P.37)。

ファームウェアを更新する

本機の新しいファームウェアが提供されると、更新を促すメッセージが表示されます（本機がインターネットに接続されている場合のみ）。表示されたら、以下の手順で更新します。

- 1  を押す。
- 2  で [Firmware Update] を選び  を押す。
- 3  で [Update] を選び  を押す。
- 4  で [Network] を選び  を押す。

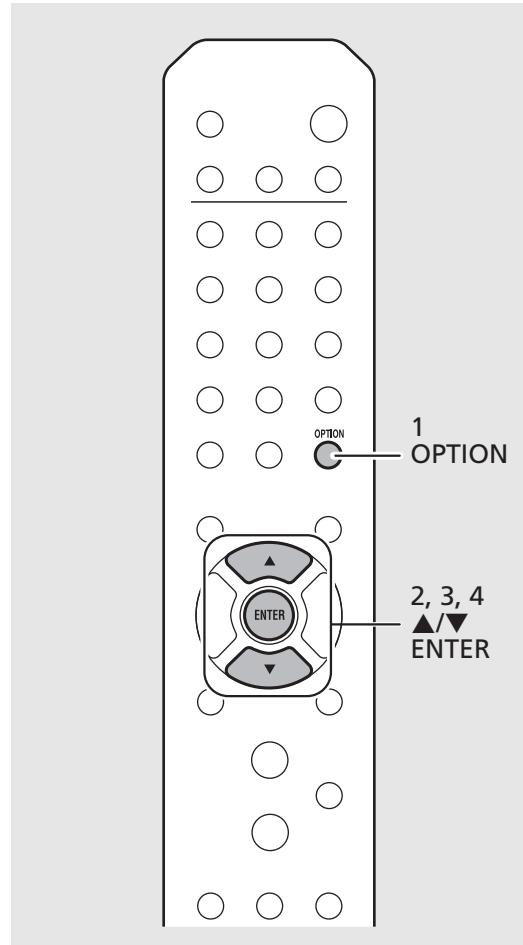
- 再度  を押すと、更新が始まります。

S1-4:55%...

- 更新が終了すると [UPDATE SUCCESS]、[PLEASE ...]、[POWER OFF!] の順に表示されます。

- 5 本体前面の  (電源) キーを押す。

- 本機に更新が反映されます。



Note

- ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、ワイヤレスネットワークアダプターを介して本機を無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。その場合は、時間をおいてもう一度更新をお試しいただくか、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。ファームウェアは弊社ウェブサイトからダウンロードできます。

USBメモリーを使用して更新するには

更新用データを保存したUSBメモリーをUSB端子に接続して更新します。

- 左の手順4で「USB」を選んで更新する。

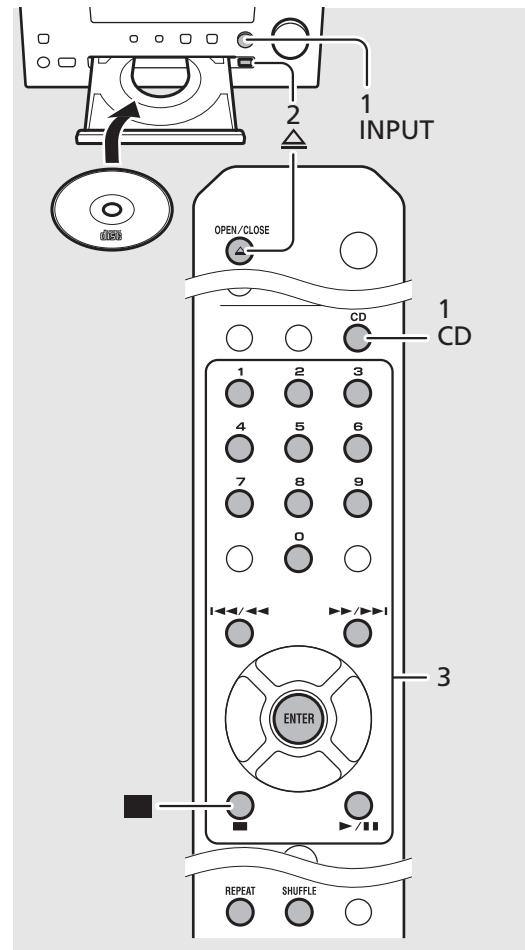
再生する

CDの音楽を再生する

- 1 本体のINPUTを押して [CD] を選ぶ。または、リモコンの^{CD}を押す。
- 2 CDをセットする。
 - ・ディスクトレイは△を押して開閉します。
- 3 再生する。

リモコンは以下の通りに機能します。

▶/■	再生/一時停止
■	停止
◀◀/◀◀	再生中の曲の先頭または、前の曲の先頭へスキップ/長押しで早戻し
▶▶/▶▶	次の曲にスキップ/長押しで早送り
SHUFFLE	シャッフル再生 (☞ P.32)
REPEAT	リピート再生 (☞ P.32)
1~9、0	曲番号の指定
エンター ^{ENTER}	数字ボタンで選んだ曲番号の確定



Note

- ・本機ではオーディオCDのほかに、MP3/WMAファイルが記録されているデータCDも再生できます。再生できるCDについては、「対応機器/メディア」(☞ P.44)をご覧ください。
- ・再生中のCDを停止した場合、次回は再生していた曲の始めから再生されます（レジューム再生）。再生停止した状態で■を押すと、レジューム再生はクリアされます。
- ・数字ボタンで選んだ曲番号は、◀を押すと、取り消しができます。
- ・CDを入力ソースに選択して、本機にCDをセットした状態で電源を切り、再度オンになると、セットされたCDが自動で再生されます。

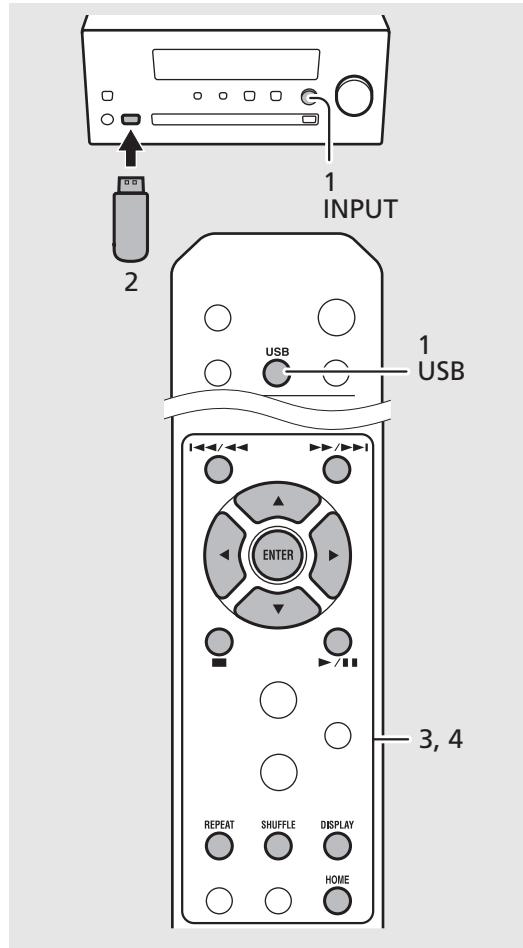
USB機器の音楽を再生する

- 1 本体の INPUT を押して [USB] を選ぶ。または、リモコンの○を押す。
- 2 USB端子にUSB機器を接続する。
- 3 ブラウズ操作して曲を選ぶ。

▲	項目を移動
ENTER/▶	選択項目を決定し次の階層に進む、または再生開始
HOME	一番上の階層に移動
◀	ひとつ前の階層に戻る
DISPLAY	ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示

4 再生する。

▶/■	再生/一時停止
▶▶/▶▶/◀◀/◀◀	フォルダ内の前後の曲にスキップ
■	停止
SHUFFLE	シャッフル再生 (☞ P.32)
REPEAT	リピート再生 (☞ P.32)



Note

- 音楽ファイルが保存されたUSB機器を再生できます。対応USB機器については「対応機器/メディア」(☞ P.44)をご覧ください。
- お使いのUSB機器によっては正常に動作しないことがあります。また、すべてのUSB機器に対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。
- USB機器を取り外すときは再生を停止してください。
- USB機器を本機に接続すると充電されます(Net Standbyオフ時 (☞ P.11) を除く)。ただし、接続する機器によっては充電されない場合があります。

△注意

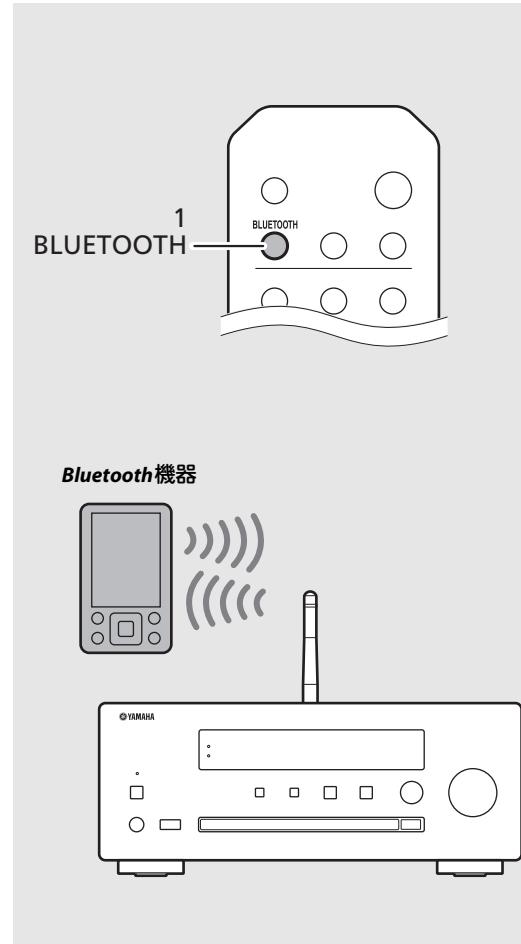
- USB機器を本機と接続して使用しているときに、USB機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。データの不具合に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。

Bluetooth 接続で音楽を再生する

ペアリングして音楽を再生する

本機とはじめてBluetooth接続するときは、Bluetooth機器を本機に登録（ペアリング）します。一度ペアリングが完了すると、Bluetooth接続を切断しても簡単に再接続できます。
あらかじめ、お使いのBluetooth機器のBluetooth機能をオンにしてください。

- 1 **BLUETOOTH** を押す。
- 2 お使いの機器の **Bluetooth** 設定で本機を選ぶ。
 - Bluetooth接続すると、Bluetoothインジケーターが点灯します。
- 3 Bluetooth機器で音楽を再生する。



Note

- ペアリングが完了しても Bluetooth 機器と本機が自動的に接続しない場合は、Bluetooth 機器の設定でもう一度本機を選んでください。
- Bluetooth 機器のペアリング情報が削除された場合には、再度本機とペアリングを行う必要があります。
- 本機が他のBluetooth機器と接続している場合は、**BLUETOOTH**を長押しして Bluetooth接続を切断してからペアリングを行ってください。
- ペアリング中にパスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。
- 接続については、お使いの Bluetooth 機器に付属している取扱説明書もご覧ください。

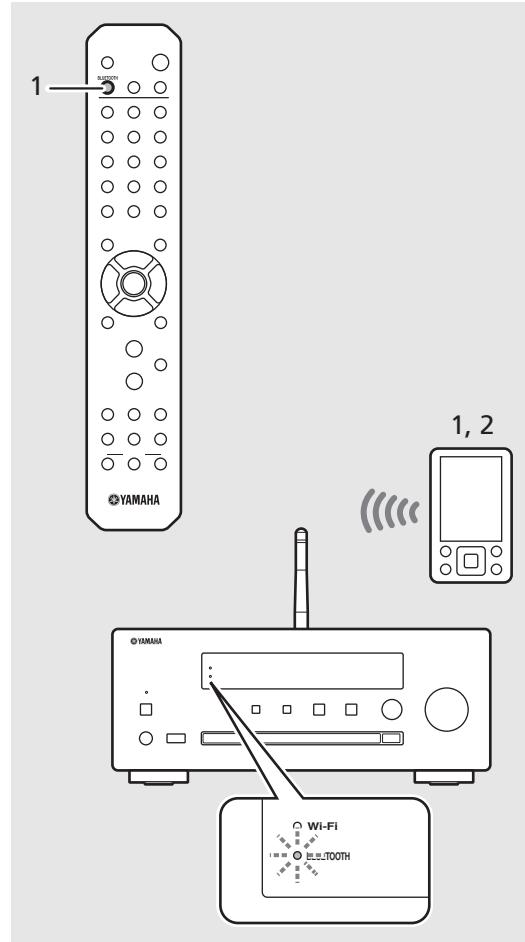
ペアリング済みの機器を接続して音楽を再生する

他の機器とBluetooth接続している場合は、切断してからBluetooth接続をしてください（右の「Bluetooth接続を切断する」を参照）。

1 接続操作をする。

- 本機から接続する場合：BLUETOOTHを押します。
- Bluetooth機器から接続する場合：
Bluetooth機器のBluetooth設定をオンにし、
使用可能なデバイスのリストから本機を選びます。
- 接続すると、Bluetoothインジケーターが点灯します。

2 Bluetooth機器で音楽を再生する。



Note

- 再生前に本機の音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まることがあります。
- 本機から接続する場合は、最後に接続したBluetooth機器を探して接続します（接続機器のBluetooth設定をオンにしておく必要があります）。

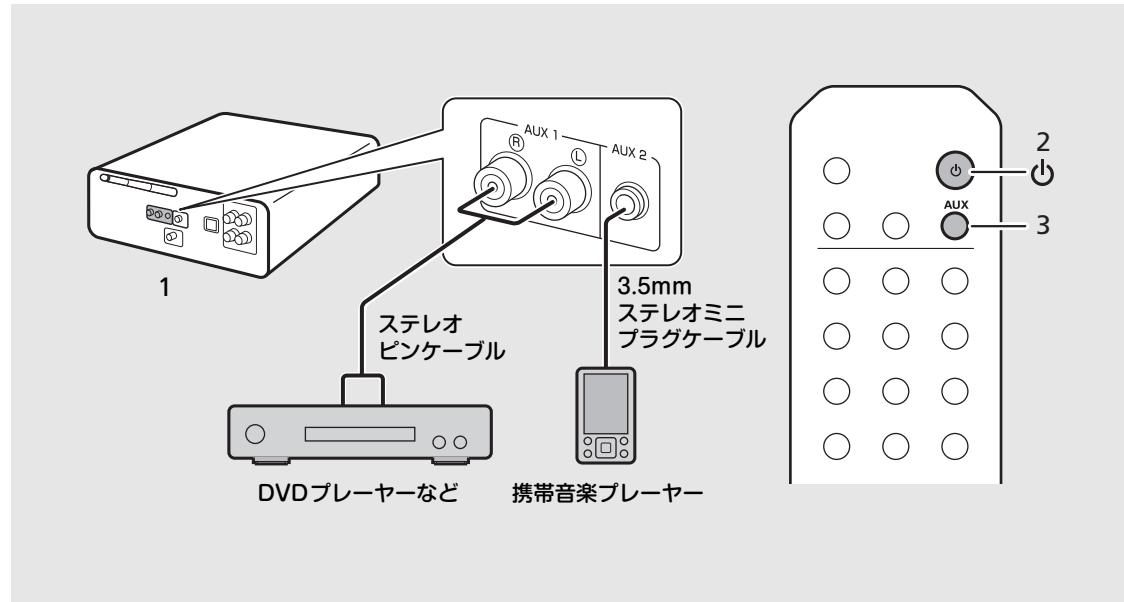
Bluetooth接続を切断する

- Bluetooth接続は、以下のいずれかの方法で切断することができます。
 - Bluetooth機器でBluetoothを切斷する。
 - 他の入力ソースに切り替える。
 - BLUETOOTHを長押しする。
 - 本機をスタンバイにする。

外部機器の音楽を再生する

DVDプレーヤーなどの音楽を再生できます。

- 1 電源コードをコンセントから外し、外部機器を本機に接続する。
 - 接続には、市販のケーブルをお使いください。
- 2 電源コードをコンセントに差したあとで、を押して本機の電源を入れる。
- 3 入力ソースを切り替える。
 - AUXを押すたびに、AUX1とAUX2が切り替わります。
- 4 接続した外部機器を再生する。
 - 再生については外部機器に付属されている取扱説明書をご覧ください。



Note

- 接続前に、本機と外部機器の音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まることがあります。
- 接続する外部機器によって、接続端子（AUX1またはAUX2）が異なります（☞ P.6）。接続については、接続する外部機器の取扱説明書もご覧ください。

FMラジオを聞く

「アンテナを接続する」(☞ P.10) を参照して、アンテナを接続してください。

放送局を選ぶ

1 TUNER ○ を押す。

2 ◀/▶を長押しする。

- ・自動選局が始まり、放送局を受信すると自動的に止まります。



放送局を登録する

自動プリセット

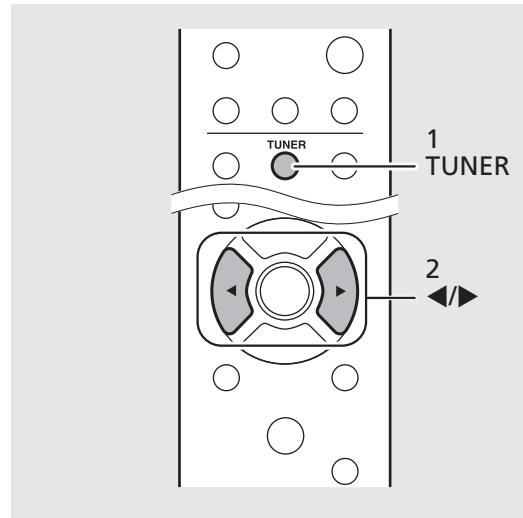
放送局を自動で選局し、受信状態の良い放送局のみ自動で登録します。

1 TUNER ○ を押す。

2 MEMORY ○ を2秒以上押す。

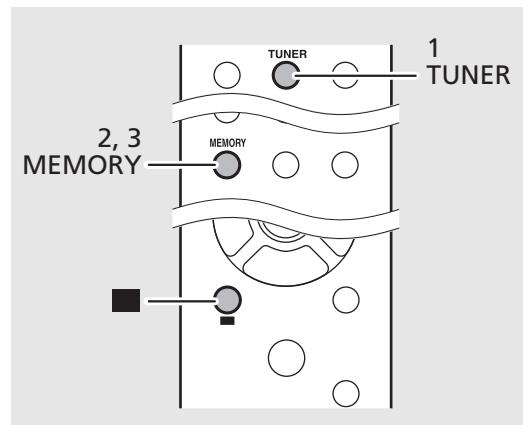
3 MEMORY ○ を押す。

- ・自動プリセットが始まると、ディスプレイに [Completed!] と表示されます。



Note

- ・ラジオの電波を受信しにくいときは、◀/▶ボタンを繰り返し押し、手動で選局してください。このとき、再生はモノラルになります。



Note

- ・自動プリセットを実行すると、登録されていたすべての放送局が消去され、新たに放送局が登録されます。
- ・放送局は30局まで登録できます。
- ・自動プリセットを途中で停止するには ■を押します。
- ・オプションメニューからも、自動プリセットを設定できます (☞ P.36)。

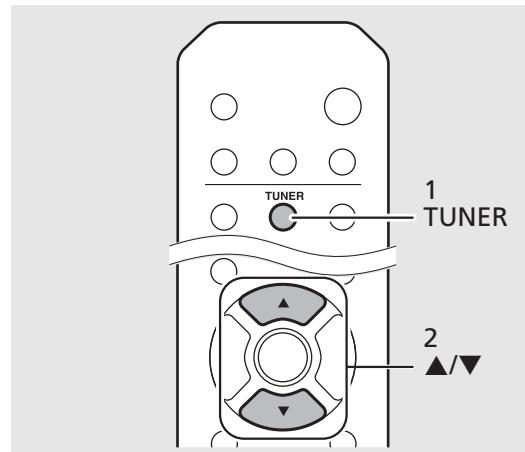
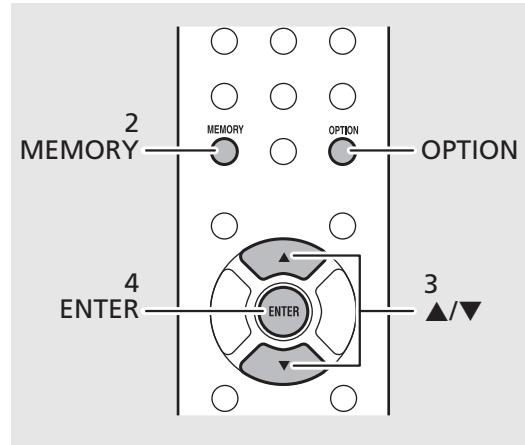
手動プリセット

- 1 登録したい放送局を選ぶ(☞ P.23)。
- 2  を押す。
 - ディスプレイにプリセット番号が点滅します。

Memory Preset 1 76.0 MHz
- 3  を押して、登録したいプリセット番号を選ぶ。
- 4  を押し、登録を完了する。

登録した放送局を選ぶ (プリセット選局)

- 1  を押す。
- 2  を押して、放送局を選ぶ。
 - 数字ボタンを使って、登録したプリセット番号を選ぶこともできます。



Note • 手動プリセットを途中でキャンセルするときは■を押します。

登録した放送局を削除する

オプション設定を使ってプリセット局を削除します。

- 1 ソースがFMのときにOPTIONを押す。
 - オプションメニューが表示されます。
 - プリセット局の削除を中止するときはOPTIONを押します。
- 2  を押して [Preset Delete] を選び、ENTERを押す。
- 3  を押して削除するプリセット番号を選ぶ。
- 4 ENTERを押す。
 - プリセットが削除され、ディスプレイに [Deleted!] と表示されます。
- 5 OPTIONを押し、オプション設定を終了します。

インターネットラジオを聴く

本機がネットワークに正しく接続されているか確認してください (☞ P.12)。

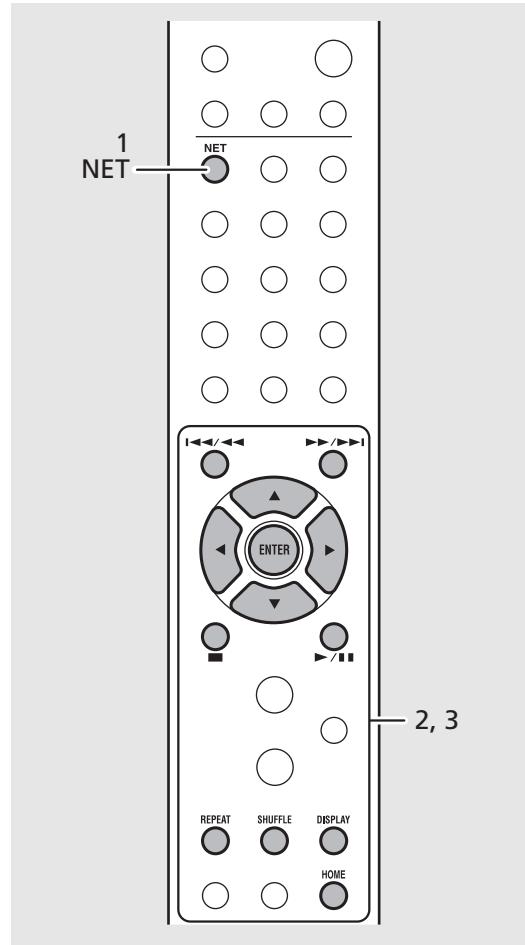
- 1 ○を繰り返し押して [NetRadio] を選ぶ。
- 2 ブラウズ操作して放送局を選ぶ。



- リモコンは以下の通りに機能します。
- | | |
|---------|----------------------------|
| ▲/▼ | 項目を移動 |
| ENTER/▶ | 選択項目を決定し次の階層に進む、または、再生開始 |
| HOME | 一番上の階層に移動 |
| ◀ | 階層をひとつ戻る |
| DISPLAY | ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示 |

- 3 再生が始まります。

- 再生を停止するには■を押します。



Note

- インターネットラジオを再生しているときに DISPLAY ボタンを押すと、以下の順で再生中の情報が表示されます。

ラジオ局名 (初期表示)

再生時間

曲名

- パソコンのウェブブラウザーで下記のウェブサイトにアクセスすると、Bookmarks フォルダーにお気に入りのインターネットラジオ局を登録できます。
<http://yradio.vtuner.com>
- インターネットラジオ局を登録する前に、本機でいずれかのインターネットラジオ局を再生してください。
- 登録に必要なアカウントの作成には本機のvTuner IDと電子メールアドレスが必要です。本機のvTuner IDはオプション設定の [Network Info] (☞ P.37) で確認できます。
- インターネットラジオ局や時間帯によっては、受信できないことがあります。
- この機能は、vTuner ラジオ局データベースサービスを利用します。
- 本サービスは事前の通知なく中止される場合があります。
- インターネットラジオの放送局は、プリセット登録ができます (☞ P.29)。

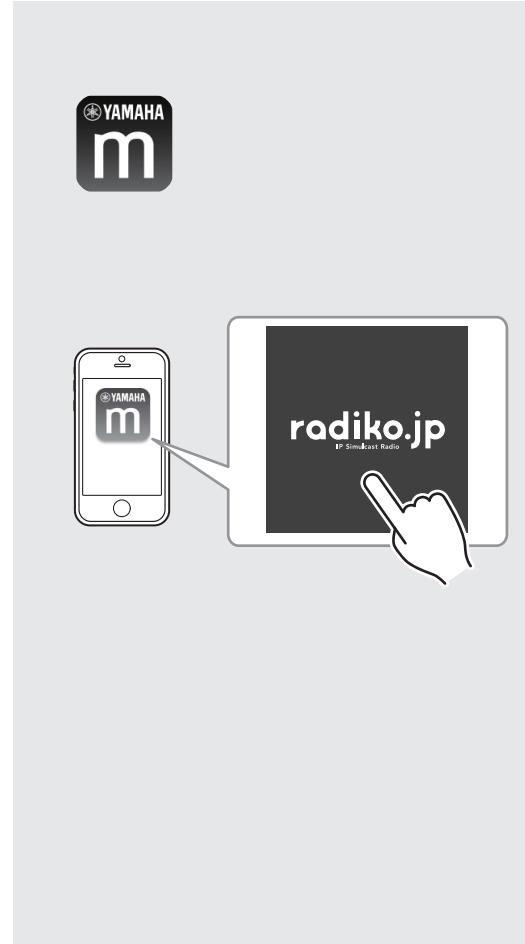
► radiko.jpを聴く

radiko.jpは、地上波ラジオ放送をインターネットで同時に配信する「IP (Internet Protocol) サイマラジオ」サービスです。

radiko.jpを聴くには、モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」アプリで選局します。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「radiko.jp」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。

- 放送局を選局すると、次回からはNETを繰り返し押して [radiko] を選ぶだけで、前回再生した放送局が再生されます。



Note

- radiko.jpの放送局は、プリセット登録ができます (☞ P.29)。

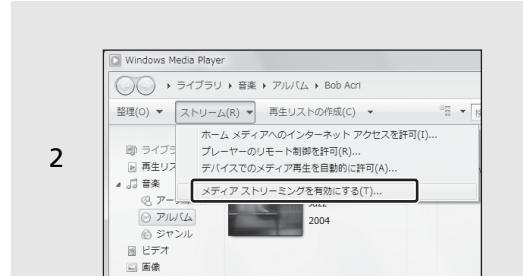
- 放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jpのウェブページをご覧ください。
- radiko.jp プレミアム（エリアフリー聴取）に登録すると、全国のラジオ局（一部を除く）を受信できます。radiko.jp プレミアムを利用するには、radiko.jpのウェブサイトでプレミアム会員登録（有料）を行ってください。登録後、モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」から登録したメールアドレスとパスワードを入力して、ログイン設定を行ってください。エリアフリー聴取可能局については、radiko.jpのウェブページをご覧ください。

パソコンの曲を 再生する

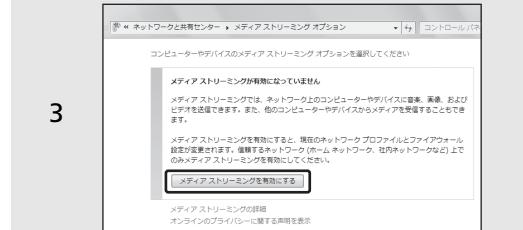
音楽ファイルの共有設定をする

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 11以降）で音楽ファイルを共有する設定が必要です。
(例：Windows Media Player 12 (Windows 7))

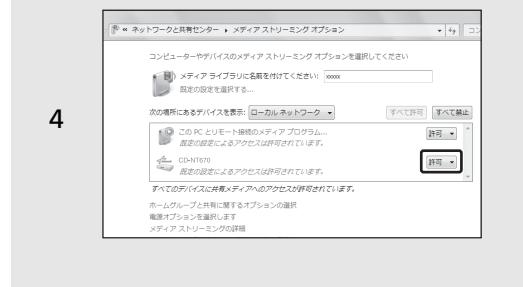
- 1 パソコンでWindows Media Player 12を起動する。
- 2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。
 - パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。
- 3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。
- 4 機器名の右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。
- 5 「OK」をクリックして設定を終了する。



2



3



4

Note

- 本機で再生できる音楽ファイルについては、「ファイル形式」(☞ P.45)をご覧ください。
- 共有設定については、Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

Windows Media Player以外のDLNAサーバーソフトがインストールされているパソコン（サーバー）の場合

各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

パソコンの曲を再生する

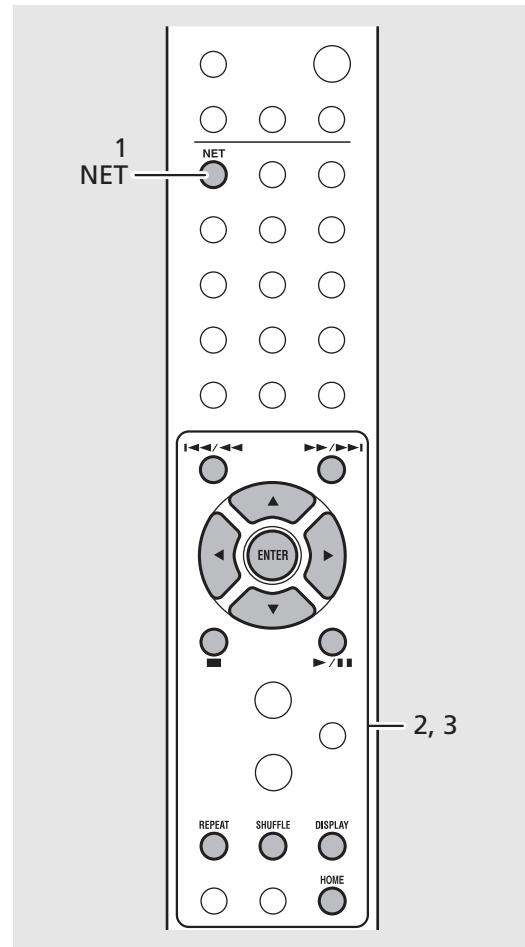
1 ^{NET} を繰り返し押して [Server] を選ぶ。

2 ブラウズ操作して曲を選ぶ。

▲/▼	項目を移動
ENTER/▶	選択項目を決定し次の階層に進む、または、再生開始
HOME	一番上の階層に移動
◀	階層をひとつ戻る
DISPLAY	ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示

3 再生する。

▶/■	再生/一時停止
▶▶/▶▶/◀◀/◀◀	フォルダ内で曲を前後にスキップ
■	停止
SHUFFLE	シャッフル再生 (☞ P.32)
REPEAT	リピート再生 (☞ P.32)



Note

- 音楽を再生できない場合は、ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、本機を同じネットワークに接続してください。
- パソコン内の音楽ファイルは、プリセット登録ができます (☞ P.29)。

ネットワークコンテンツを登録する

ネットワークコンテンツを登録しておくと、次回から簡単に再生できます。

登録する

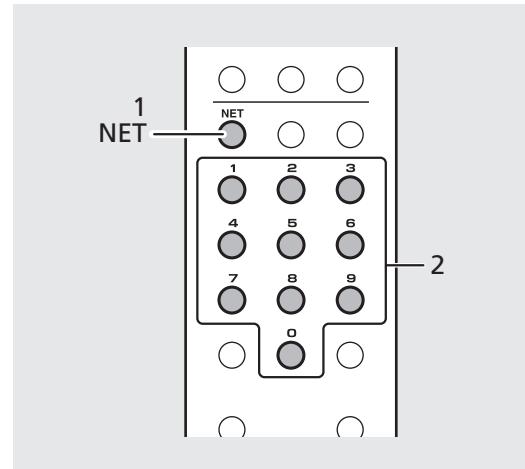
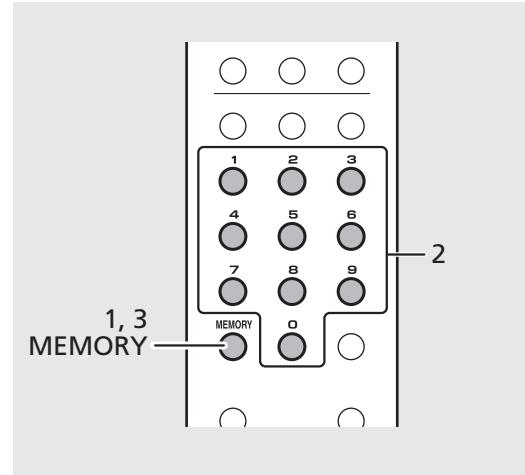
以下のネットワークコンテンツをプリセット登録できます。

- ・インターネットラジオ/radiko.jpの放送局
- ・パソコン（サーバー）内の曲

- 1 ネットワークコンテンツを再生中に **MEMORY** を押す。
- 2 数字ボタンで登録したいプリセット番号を選ぶ。
 - ・プリセット番号は1~37まで設定できます。
- 3 **MEMORY** を押し、登録を完了する。

登録したコンテンツを選ぶ

- 1 **NET** を押す。
- 2 数字ボタンでプリセット番号を選ぶ。
 - ・ネットワーク接続しているとき、プリセット番号に登録されたコンテンツが再生されます。



Note

- ・プリセット番号にすでにコンテンツが登録されている場合は、上書きされます。
- ・プリセット登録中に■を押すと、登録はキャンセルされます。

► AirPlayで音楽を再生する



再生の前に、本機とパソコンやiPhoneが同じルーターに接続されているか（☞ P.12）確認してください。

iPhoneで再生する

- 1 本機の電源を入れ、iPhone の音楽再生画面を表示する。
- 2 □をタップし、リスト内の本機を選ぶ。
 - 入力ソースが [AirPlay] に切り替わります（Net Standbyオフ時（☞ P.11）を除く）。
- 3 iPhoneで曲を再生する。

iTunesで再生する

- 1 本機の電源を入れ、iTunes を起動する。
- 2 □をクリックして、本機を選ぶ。
 - 入力ソースが [AirPlay] に切り替わります（Net Standbyオフ時（☞ P.11）を除く）。
- 3 iTunesで曲を再生する。



Note

- iOS7/iOS8/iOS9を搭載したiPhoneの場合は、コントロールセンター内に表示されます。コントロールセンターを表示するには、iPhone の画面を下から上にスワイプします。
- 再生中は、本機とリモコンでも再生 / 一時停止、停止、曲のスキップ操作ができます。

AirPlayを解除する

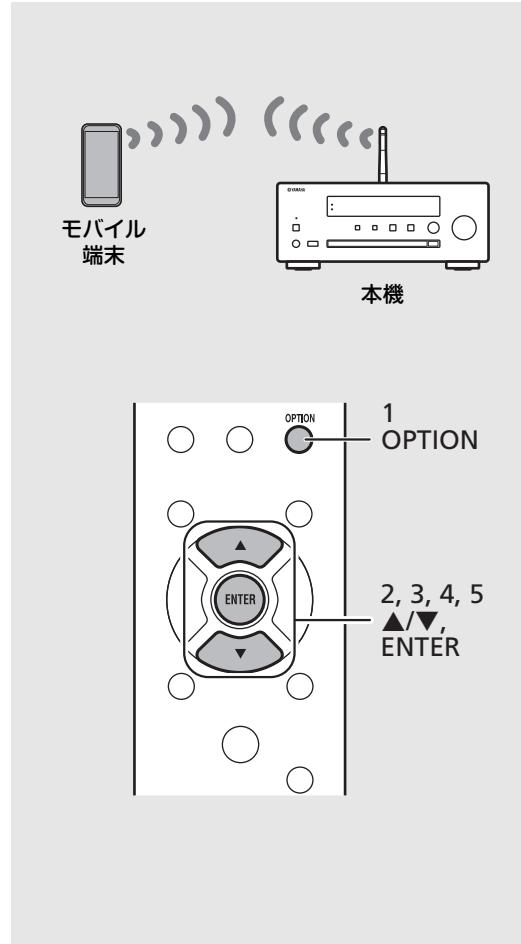
- iPhone/iTunes の画面で □ をタップ / クリックし、スピーカーリストで本機以外の再生機器を選びます。または、入力ソースを AirPlay以外にしてください。



本機とモバイル端末を直接接続する

本機とモバイル端末を無線で直接接続します（ワイヤレスダイレクト）。あらかじめ、本機の無線アンテナを垂直に立ててください（☞ P.10）。

- 1  を押す。
- 2 ▲/▼で [Network Config] を選び、 を押す。
- 3 ▲/▼で [Select Network] を選び、 を押す。
- 4 ▲/▼で [Direct] を選び、 を押す。
- 5 ▲/▼でセキュリティ方式を選び、 を押す。
 - 右のNoteをご覧ください。
- 6 SSID とセキュリティキーを確認する。
 - 手順7で必要です。
 - オプションメニュー→ [Network Info] → [Direct Info] で確認できます。
- 7 モバイル端末のWi-Fi設定を行う。
 - モバイル端末のWi-Fi機能を有効にしてください。
 - アクセスポイントの一覧が表示されたら、手順6で確認したSSIDを選びます。
 - パスワードの入力を求められたら、手順6で確認したセキュリティキーを入力します。



Note

- 手順5で選択できるセキュリティ方式：[OPEN]、[WPA2-PSK(AES)]
[OPEN] を選択した場合は、通信が暗号化されないため、接続が安全ではない場合があります。
- 有線ネットワーク接続や無線ネットワーク接続と同時に使用することはできません。
- ワイヤレスダイレクトではインターネットに接続できないため、インターネットラジオなどのインターネットサービスはご利用いただけません。
- モバイル端末のWi-Fi設定方法については、お使いのモバイル端末の取扱説明書をご覧ください。

もっと便利に使う

シャッフル/リピート再生や曲情報の確認、プリセット登録などの機能を使えば、本機をもっと便利に使えます。

▶ シャッフル/リピート 再生する

シャッフル(ランダム)再生する

再生中に  を押す。

- 押すたびに、ディスプレイのシャッフルインジケーターは以下のように切り替わります。

	シャッフル再生します。*
非表示	シャッフル再生しません。

* シャッフルする範囲は再生しているメディアにより異なります。

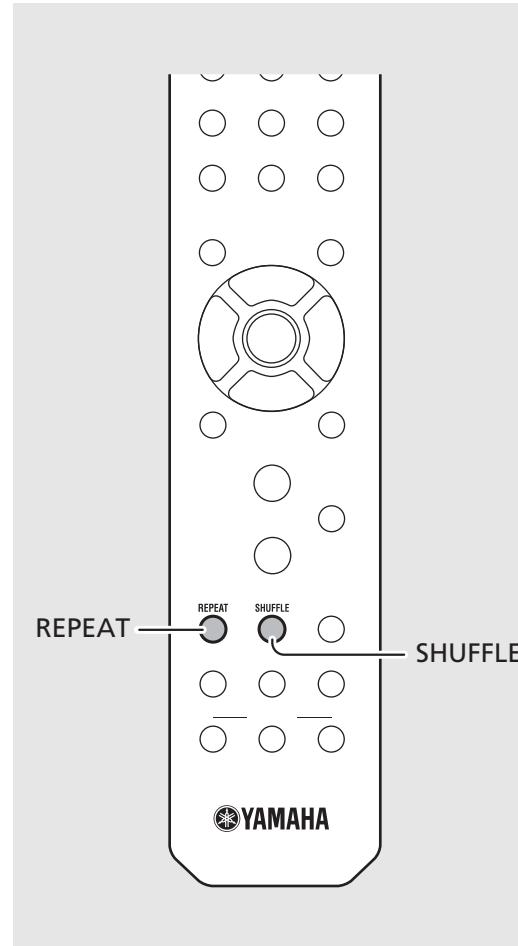
リピート再生する

再生中に  を押す。

- 押すたびに、ディスプレイのリピートインジケーターは以下のように切り替わります。

	再生中の曲をリピート再生します。
	リピート再生します。*
非表示	リピート再生しません。

* リピートする範囲は再生しているメディアにより異なります。



Note

- 操作はパソコン（サーバー）、USB 機器、AirPlay、CDの再生で共通です。

曲情報を見る

パソコン（サーバー）、USB機器、AirPlay、CDの再生中には、曲名や再生経過時間などをディスプレイに表示できます。

再生中に  を押す。



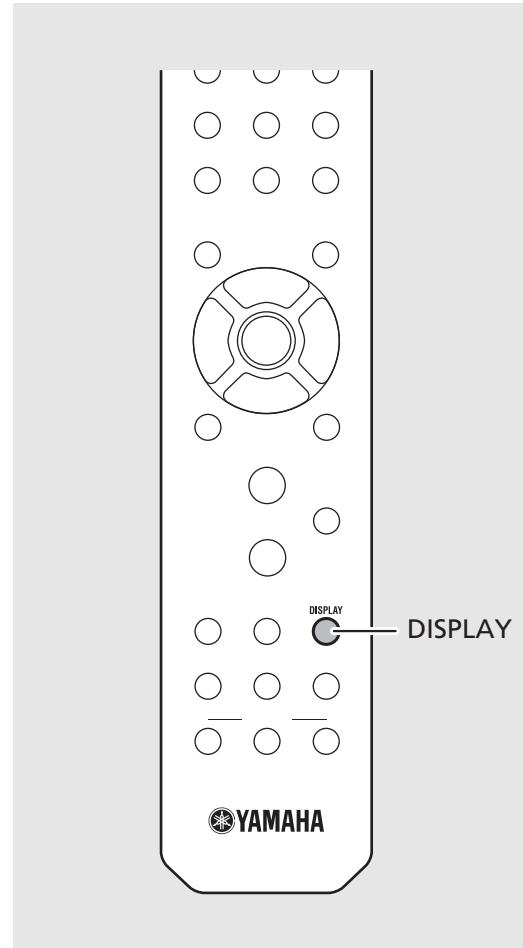
- 押すたびに、表示は以下の順に切り替わります。

USB/AirPlay/ サーバー	CD
曲名 ^{*1}	再生時間
アーティスト名	曲の残り時間 ^{*2}
アルバム名	CD全体の残り時間 ^{*2}
再生時間	曲名 ^{*1、*3}
	アーティスト名 ^{*3}
	アルバム名 ^{*3}

^{*1} 曲名が取得できない場合は、ファイル名を表示することがあります。

^{*2} オーディオCD再生時のみ。

^{*3} オーディオCDの場合、選択された曲が各情報を含んでいるときのみ。



Note

- ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。

▶ FAVORITES にお気に入りを登録する

お気に入りの曲や放送局をFAVORITESボタン（A～C）に登録すると、次回から簡単に再生できます。

登録する

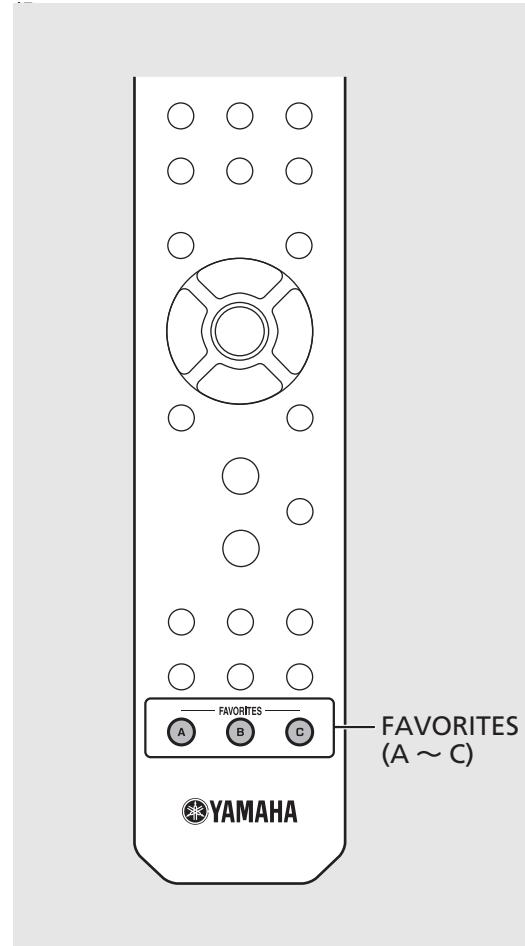
再生中に登録したいFAVORITESボタンを選んで長押しする。

- 再生中の曲または放送局がFAVORITESボタンに登録されます。

登録したお気に入りを選ぶ

再生したい曲または放送局を登録したFAVORITESボタンを押す。

- FAVORITES ボタンに登録された曲または放送局が再生されます。



Note

- FAVORITES ボタンにすでに登録されている場合は上書きされます。
- お気に入りを登録したFAVORITESボタンを押すと、入力ソースによって以下のように動作します。

入力ソース	登録したFAVORITESボタンを押したときの動作
パソコン (サーバー)	登録した曲を再生します。
インターネット ラジオ	登録した放送局を再生します。
radiko.jp	登録した放送局を再生します。
AirPlay*	入力ソースがAirPlayに切り替わります。
Bluetooth*	入力ソースがBluetoothに切り替わります。
USB	登録した曲を再生します。
CD	登録した曲を再生します。
FMラジオ	登録した放送局を再生します。
AUX 1、2*	登録した入力ソースによって、AUX 1またはAUX 2に切り替わります。

* 曲を再生するには、入力ソース側の機器の設定が必要です。

音質を調整する

音質の調整ができます。右の「音質に関するオプションメニュー」をご覧ください。

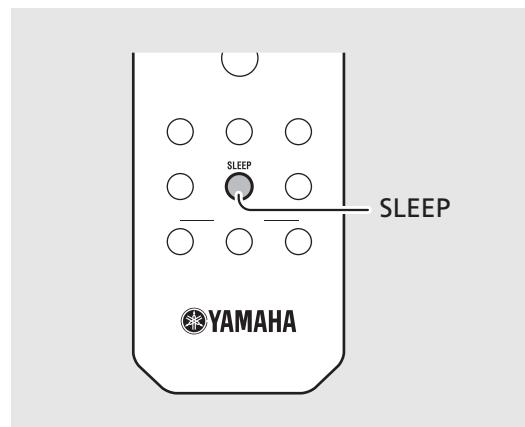
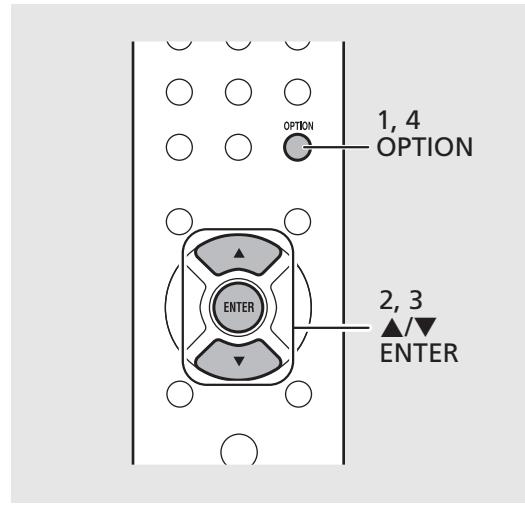
- 1  を押す。
- 2 で設定したい項目を選び、を押す。
- 3 で設定を変更し、を押す。
・他の項目を続けて設定するときは、手順2と3を繰り返します。
- 4 を押し、オプション設定を終了する。

スリープタイマーを使う

本機が自動的にスタンバイ状態になる時間を120/90/60/30分、OFFから選べます。

を繰り返し押し、時間を選ぶ。

- ・スリープタイマーがセットされると、SLEEPインジケーターが点灯します。



Note • 音質設定をキャンセルするときはOPTIONを押します。

音質に関するオプションメニュー

(太字：初期値)

イコライザー Equalizer

低音 [Bass]、高音 [Treble] を調整します。ヘッドホン使用時も設定は有効です。
(-10 ~ 0 ~ +10)

バランス Balance

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
ヘッドホン使用時は設定は無効です。
(Lch. +10 ~ --center-- ~ Rch. +10)

ミュージック エンハンサー Music Enhancer

圧縮によって失われた情報を補完します。
(On, Off)
FLACやWAVなど高音質なソースを再生するときは、[Off] に設定することを推奨します。オーディオCDは圧縮音源ではないので、[On] に設定しても再生してもMusic Enhancerは無効になります。

Note • スリープタイマーを解除するには、もう一度SLEEPを押します。

○ オプション設定

本機のさまざまな項目の設定ができます。

1  を押す。

- ・オプションメニューが表示されます。「オプションメニュー一覧」(☞ P.37) をご覧ください。

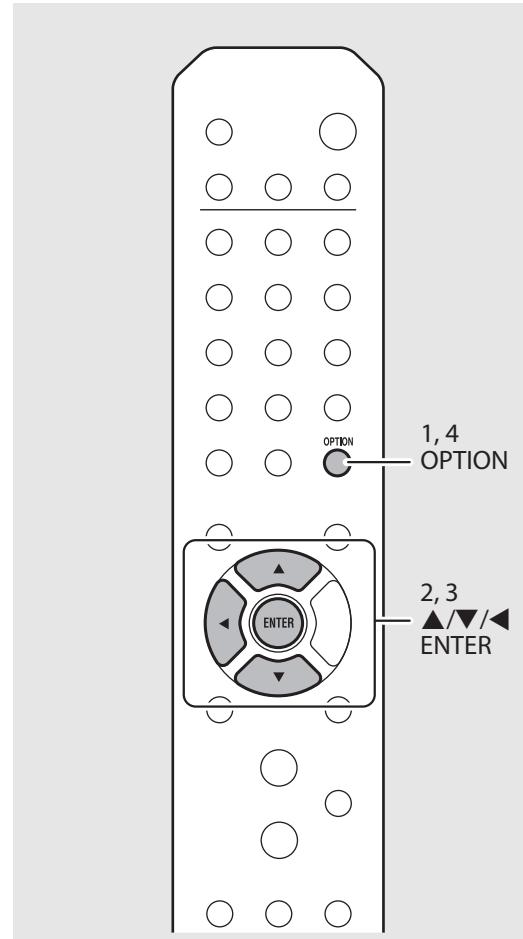
2 ▲/▼で設定したいオプションメニューを選び、 を押す。



3 ▲/▼で設定を変更し、 を押す。

- ・サブメニューがある場合は、手順3を繰り返します。
- ・◀を押すと、設定をキャンセルしてひとつ上の階層に戻ります。
- ・続けて他の項目も設定するときは、手順2～3を繰り返します。

4  を押して、オプション設定を終了する。



オプションメニュー一覧

メニュー	サブメニュー	初期値	説明
Preset Delete* (☞ P.24)			プリセット局を削除
Auto Preset*			Auto Presetの設定
Equalizer (☞ P.35)	Bass Treble	0 0	低音の設定 高音の設定
Balance(☞ P.35)	center		左右のスピーカーの音量バランス調整
Music Enhancer(☞ P.35)	Off		Music Enhancerのオン/オフの切替え
Network Info	Status		ネットワーク端子の接続状態を確認
	LAN MAC Address		MACアドレスの確認
	WiFi MAC Address		MACアドレスの確認
	Bluetooth Addr		Bluetoothアドレスの確認
	MusicCast Info		MusicCastの情報を表示
	SSID		SSIDの確認
	Direct Info		ワイヤレスダイレクトの情報を表示
	Network Name		ネットワーク表示名の確認
	vTuner ID		vTuner IDの確認
	IP Address	0.0.0.0	IPアドレスの確認

メニュー	サブメニュー	初期値	説明
Network Info	Subnet Mask	0.0.0.0	サブネットマスクの確認
	Default Gateway	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイの確認
	DNS Server(P)	0.0.0.0	プライマリDNSサーバーの確認
	DNS Server(S)	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバーの確認
Network Config	Select Network	Wired	ネットワーク接続方法の選択
	DHCP	On	DHCPの有効/無効の切り替え
System Config	AutoPowerStby	On	自動的に本機をスタンバイにする設定(☞ P.11)
	Net Standby	On	スタンバイ中のネットワークの状態を設定(☞ P.11)
	Bluetooth	On	Bluetoothの設定
Firmware Update	Initialize Set		工場出荷時の設定に初期化
	Version		本体ファームウェアのバージョンを表示
	Update	Network	本体ファームウェアの更新(☞ P.17)

* ラジオ再生中のときのみ表示

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

最初に、各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されているかご確認ください。また、電源コードがコンセントに差し込まれているかご確認ください。

▶全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる。 正常に動作しない。	電源コードが正しく接続されていない。 本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。 本体前面の電源キーを10秒以上押して本機を再起動してください（問題が解決しない場合は、コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約30秒後に再度差し込んでください）。
スピーカーから音が出ない。	再生したい音楽ソースが正しく選ばれていない。 スピーカーがしっかりと接続されていない。 音量が最小またはミュートになっている。	本体のINPUTやリモコンのソースボタンで再生したい音楽ソースを選びなおしてください（☞ P.5, 8）。 スピーカーの接続を確認してください（☞ P.9）。
片側のスピーカーから音がほとんど出ない。	再生機器やスピーカーがしっかりと接続されていない。	再生機器やスピーカーの接続を確認してください（☞ P.9, 22）。接続に問題がないときは、ケーブルに不具合がある場合があります。
雑音が入る。	デジタル機器や高周波機器が本機の近くに置かれている。 本機と再生機器を接続しているケーブルが破損している。	本機と該当機器の距離を離してください。 接続を確認してください。接続に問題がなければ、別のケーブルに交換してください。
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた（☞ P.35）。 AutoPowerStbyを設定していた（☞ P.11）。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。 本機のリモコン信号受光部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）があたっている。	操作範囲内からリモコンを操作してください（☞ P.11）。 照明または、本体の向きや置き場所を変えてください。

症状	原因	対策
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池と交換してください (☞ P.8)。
	リモコンと本機の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。

ネットワーク

症状	原因	対策
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報 (IPアドレス) が正しく取得されていない。	ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機のオプション設定の [Network Config] で、[DHCP] を [On] に設定してください。DHCPサーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機のIP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください (☞ P.37)。 ルーターに関する詳しい設定方法につきましては、ルーターの製造メーカーにお問い合わせください。
再生が停止してしまう (連続して再生できない)。	本機が再生できないファイルが存在する。	再生するフォルダーには、本機が再生できないファイル (画像ファイルや隠しファイルなどを含む) を入れないでください。
パソコンが検出されない。	メディアの共有設定が正しくない。 セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	本機がパソコンのフォルダにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください (☞ P.27)。 パソコンにインストールされているセキュリティソフトの設定をご確認ください。
パソコンのファイルが表示 (再生) されない。	本機またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。 選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	本機およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください (☞ P.45)。 ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できても音は出ません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
		ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
モバイル端末の専用アプリケーションで本機が検出されない。	本機とモバイル端末が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
ネットワーク経由によるファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。またはUSBメモリーを使ってファームウェアを更新してください（☞ P.17）。
AirPlay使用時、iPhoneから本機を認識できない。	マルチSSID対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPhoneを接続する際は、本機へのアクセスが可能なSSIDをお使いください。
無線LANルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない。	無線LANルーターの電源が切れている。 本機と無線LANルーターとの距離が離れすぎている。 本機と無線LANルーターの間に障害物がある。	無線LANルーターの電源を入れてください。 本機と無線LANルーターを近づけて設置してください。 障害物を取り除いてください。
無線ネットワークが見つからない。	電子レンジやその他の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。 無線LANルーターのファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線接続で本機を使用するときは、電磁波が発生する機器を近くで使用しないでください。 無線LANルーターのファイアウォール設定をご確認ください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機とBluetooth機器がペアリングできない。	本機の電源がオフになっている。 オプション設定の【Bluetooth】が【Off】に設定されている。 すでに他のBluetooth機器が接続されている。 距離が離れすぎている。 2.4 GHz帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN機器など）がそばにある。 Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。 Bluetooth機器がA2DPに対応していない。	本機の電源をオンにしてから、ペアリング操作をしてください（☞ P.20）。 【On】に設定してください。 接続中の機器をいったん切断してから、ペアリングしてください。 本機から10 m以内の位置でBluetooth機器をペアリングしてください。 本機を電磁波を発するものから離して設置してください。 パスキーが「0000」の機器をご使用ください。 A2DPに対応した機器とペアリングしてください。

症状	原因	対策
Bluetooth接続ができない。	オプション設定の [Bluetooth] が [Off] に設定されている。	[On] に設定してください。
	すでに他のBluetooth機器が接続されている。	現在接続中の機器をいったん切断してから、接続しなおしてください。
	Bluetooth機器のBluetooth設定がオフになっている。	Bluetooth機器の設定をオンにしてください。
	ペアリング情報が消えた。	Bluetooth機器のペアリング情報を削除してから、再度ペアリングを行ってください (☞ P.20)。
	本機がBluetooth機器のBluetoothリストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください (☞ P.20)。
音が出ない、または音が途切れる。	Bluetooth機器の音量が最小になっている。	Bluetooth機器の音量を上げてください。
	Bluetooth機器の出力切替が本機に設定されていない。	Bluetooth機器の出力切替を本機に設定してください。
	Bluetooth接続が切断された。	Bluetooth接続を再度行ってください (☞ P.20)。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発する機器から離して設置してください。
	本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。	Bluetooth機器を本機から10 m以内に置いてください。
	Bluetooth機器のBluetooth設定がオフになっている。	Bluetooth機器の設定をオンにしてください。
	Bluetooth機器がBluetooth信号を本機に送っていない。	Bluetooth機器の設定を確認してください。

ディスク

症状	原因	対策
ディスクをセットしても再生されない。 特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (☞ P.44)。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください (☞ P.44)。
本体の▶/□または、リモコンの▶/■を押しても再生が始まらない (すぐに停止する)。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (☞ P.44)。
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を1~2時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。

故障かな？と思ったら

USB機器

症状	原因	対策
USB機器が認識されない。	USB 機器がUSB端子に正しく接続されていない。 FAT16/32フォーマット以外のUSB 機器を使用している。	本機の電源を切り、USB機器を接続しなおしてください(☞ P.19)。 FAT16/32フォーマットのUSB 機器を使用してください。
USB機器のフォルダやファイルが表示されない。	暗号化機能によりUSB機器内のデータが保護されている。	暗号化機能のないUSB機器を使用してください。

ラジオ

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多く聞きづらい。	アンテナが正しく接続されていない。 放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	アンテナの接続を確認し、固定位置を調整してください(☞ P.10)。 屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。 手動で選局してください(☞ P.24)。
プリセット選局ができない。	メモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再登録してください(☞ P.23、24)。
FM専用アンテナや屋外アンテナを使用していても、音が歪むなど受信感度が悪い。	マルチパス（多重反射）などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

ディスプレイの表示メッセージ

表示	内容	対策
Access Denied	パソコン（サーバー）がアクセスを拒否している。	本機がパソコン（サーバー）のフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください（☞ P.27）。
Access Error	USB 機器にアクセスできない。	本機の電源を切り、USB 機器を接続しなおしてください。それでもエラーが表示される場合は、別のUSB機器に音楽ファイルを移動して再生してください。
	ネットワーク経路に問題が発生している。	ルーターおよびモデムの電源が入っていることを確認してください。本機とルーター（またはハブ）が正しく接続されているか確認してください（☞ P.12）。
Initializing	本機が起動中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。3分以上経過しても消えない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
Loading...	指定されたファイル/コンテンツを読み込み中です。	読み込みが終わるまでしばらくお待ちください。
No Content	再生可能なファイルが選択したフォルダに入っていない。	再生可能なファイルが入っているフォルダを選択してください（☞ P.45）。
No Disc	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	ディスクが本機に対応しているか確認してください（☞ P.44）。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクの汚れを拭きとってください。または、付着した異物を取り除いてください。
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクはラベル面を上にしてセットしてください。
No Songs	再生可能なファイルがディスクに入っていない。	再生可能なファイルが入っているディスクをセットしてください（☞ P.44）。
Not Connected	本機がネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続を確認してください。
Overcurrent	非対応のUSB機器が接続された。	USB機器を接続しなおし、本機の電源を入れなおしてください。
	USB機器が正しく接続されていない。	USB機器で再度同じ症状が現れた場合は、接続されたUSB 機器は使用できません。
Unable to play	USB機器またはパソコン（サーバー）の曲を再生できない。	再生可能なファイルか確認してください（☞ P.45）。
Version Error	ファームウェアの更新に失敗している。	再度ファームウェアを更新してください。

対応機器/メディアとファイル形式

対応機器/メディア

パソコン

Windows Media Player 11かWindows Media Player 12がインストールされたパソコン。

NAS

DLNAバージョン1.5に対応したNAS。

USB機器

- 本機は、FAT16/FAT32 フォーマットのUSB マスストレージクラスの機器(フラッシュメモリー、携帯音楽プレーヤーなど)に対応しています。
- USB マスストレージクラス以外の機器(USB チャージャー、USB ハブなど)、パソコン、カードリーダー、外付けハードディスクを接続しないでください。
- 暗号化機能があるUSB 機器は使用できません。
- USB 機器のメーカーと種類により、USB 機器が本機に認識されない場合や一部の機能が使えない場合があります。

ディスク

- 本機は下記のロゴがついた音楽 CD、CD-R/RW (ISO9660フォーマット) を再生できます。

音楽CD



CD-R/RW*



* 次のいずれかの表示があるもの。

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

- 本機は8cmディスクの再生ができます。
ディスクトレイの内側のくぼみに8cmディスクをセットしてください。

ディスクに関するご注意

- 本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、上記以外のディスクは使用しないでください。
- ファイナライズされていないCD-R/RWディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 一部のCD-R/CD-RWディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 表面に傷のあるディスク、ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。

ディスクの取り扱い

- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- ディスクのラベル面に文字を書くときは、先の柔らかいペンなどを使用してください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけたりしないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ディスク以外のものをディスクトレイにセットしないでください。
- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットすると故障の原因となり、ディスクを傷つけることになります。
- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ向かって拭いてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ディスクを使用していないときは、本機からディスクを取り出し適切なケースに入れて保管してください。



ファイル形式

本機に対応しているファイル形式は以下の通りです。

DLNA/USB

ファイル	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル数	ギャップレス再生対応
WAV*	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
MP3	32/44.1/48	-	8 ~ 320	2	-
WMA	32/44.1/48	-	8 ~ 320	2	-
MPEG-4 AAC	32/44.1/48	-	8 ~ 320	2	-
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
ALAC	32/44.1/48/ 88.2/96	16/24	-	2	✓
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓

ディスク

フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数
MP3	8 ~ 48	16
WMA	16 ~ 48	16

* リニアPCM フォーマットのみ

- FLAC ファイルを再生するには、パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトが、DLNA を使ったFLAC ファイルの共有に対応している必要があります。
- DRM（デジタル著作管理）により保護されたファイルは再生できません。

主な仕様

入力

AUX IN	AUX 1	ステレオ L/R: RCA 端子
	AUX 2	3.5 mm ステレオミニジャック

CD

レーザー	タイプ	半導体レーザー GaAs/GaAlAs
	波長	790 nm
	出力	7 mW
再生メディア		CD、CD-R/RW
オーディオフォーマット		オーディオCD、MP3、WMA

USB

再生フォーマット	MP3、WMA、MPEG4 AAC、WAV、FLAC、ALAC、AIFF
----------	--------------------------------------

ネットワーク

インターフェース	100Base-TX/10Base-T
インターネットラジオ	vTuner 対応
PCクライアント機能	DLNA Ver. 1.5対応 (DMP/DMR機能)
再生フォーマット	USBの再生フォーマットと同様
AirPlay	AirPlay対応

Wi-Fi

無線LAN規格	IEEE802.11 b/g/n
無線周波数	2.4 GHz
対応セキュリティ	WEP、WPA2-PSK (AES)、Mixed Mode

チューナー

プリセットメモリー	30
受信周波数範囲	FM 76.0 MHz～95.0 MHz

Bluetooth

Bluetoothバージョン	Ver. 2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
対応コーデック	SBC、AAC (AACはSinkのみ)
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
動作モード	SinkまたはSource
無線出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m (障害物が無いこと)

アンプ部

最大出力	22 W + 22 W (6 Ω、1 kHz、10% THD)
周波数特性	20 Hz～20 kHz (0±3 dB)
全高調波歪率	≤ 0.05 % (10 W/6 Ω 1 kHz)
ヘッドホン端子	500 mV / 32 Ω 入力 1 kHz 300 mV , 32 Ω terminated
サブウーファー出力	1.5 V / 1 kΩ

総合

電源電圧/周波数	AC 100～120 V、50/60 Hz
消費電力	25 W
待機消費電力	ネットワークスタンバイ オフ時: 0.4 W ネットワークスタンバイ オン時 有線ネットワーク (Ethernet) : 1.8 W 無線ネットワーク (Wi-Fi/Wireless Direct/Bluetooth) : 1.9 W/1.9 W/1.7 W
外形寸法 (幅×高さ×奥行き) (アンテナ直立時)	270×110×330 mm (270×179×330 mm)
質量	3.0 kg

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

商標

AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、iTunesは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

AirPlayはiOS 4.3.3以降を搭載したiPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lionを搭載したMac、iTunes 10.2.2以降を搭載したMacとPCにおいて動作します。



DLNA™およびDLNA CERTIFIED™はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。



Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。

Wi-Fi Protected SetupマークはWi-Fi Allianceの認証マークです。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、WPA、WPA2はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。



Bluetooth®およびロゴはBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Bluetoothプロトコルスタック (Blue SDK)

©1999-2014 OpenSynergy GmbH

All rights reserved. All unpublished rights reserved.

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPLライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様はGPL/LGPLライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコード入手、改変、再配布する権利があります。GPL/LGPLライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPLライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

<http://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>

Windows™

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Playerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™

AndroidおよびGoogle Playは、Google Inc.の商標です。



「ラジコ」、「radiko」およびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。



MusicCastはヤマハ株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



プラグを抜く

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
●異常ににおいや音がある。
●煙が出る。
●内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。
●重いものを上に載せない。
●ステープルで止めない。
●加工をしない。
●熱器具には近づけない。
●無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

付属の電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(本機の周囲に左右6cm、上10cm、背面6cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意



本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

接触禁止



本機の上には、花瓶・植木鉢・カップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。

お手入れ



電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまつたまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

必ず実行

⚠ 注意

電源/電源コード



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

プラグを抜く



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

必ず実行



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



本機を完全に主電源から切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体のキーでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

電池



電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。



指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混せて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めて從って廃棄する。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



直射日光のある場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。



屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。



機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。
突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



手を挟まれないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。
閉めるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁
止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。



禁
止

ディスクの挿入口には手を入れない。

本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



禁
止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。

ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



禁
止

レーザー光源をのぞき込みない。

レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。



禁
止

業務用機器とは接続しない。

デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。



禁
止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。

リモコン



禁
止

水やお茶などの液体をこぼさない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。感電の原因になります。



禁
止

落としたり、強い衝撃を与えたりしない。

故障の原因になります。



禁
止

下記のような場所に置かない。

- 風呂場の近くなど、湿度が高いところ
- 暖房器具やストーブの近くなど、温度が高いところ。

- 極端に寒いところ
- ほこりの多いところ

火災や故障の原因になります。

お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかないと、また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましよう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずところに迷惑をかけてしまします。適度な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンを使用したり周囲に配慮しましょう。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

Bluetoothについて

- Bluetoothとは、2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機の無線方式について

(Wi-Fi)

2.4DS/OF4

- 「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
- 「DS/OF」.....変調方式はDS-SSおよびOFDM方式
- 「4」.....想定干渉距離が40 m以内



.....全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Bluetooth)

2.4FH1

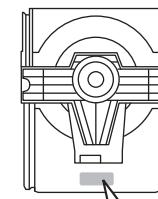
- 「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
- 「FH」.....変調方式は周波数ホッピング(FH-SS 方式)
- 「1」.....想定干渉距離が10 m以内



.....全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

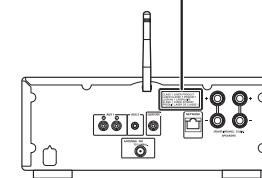
本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。そのため、無線局の免許は不要です。

- この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。



CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.
DO NOT STARE INTO BEAM.
DANGER: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID DIRECT EXPOSURE TO THE BEAM.

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 PRODUKT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
PRODUIT LASER DE CLASSE 1



お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-011-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただいたよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーティに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-012-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセイビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態ができるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用的製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コケくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触るとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1